

猿人善快v3 本体ロガーに記録されるデータについて

4GB以下のUSBメモリを使用することで、本体に記録された受信履歴を取り出すことができます。

Excelで読めるcsv形式のファイルです(以下、サンプル参照)。

Mail通知を使う、使わないには関係なく、受信履歴を残します。

場所情報は、装置に設置場所名を登録します。

名称登録をした発信器については、こちらのサンプルのようにその名称が表示されます。

名称登録のない、場合によっては他所で取り付けられた発信器を受信しても、警報／通知／記録は行われます。

その場合、名称のところは発信器のID番号そのものが表示されます(別ファイルで管理)。

受信履歴サンプル

メモリNo	場所	名称	受信レベル	接近日	接近時刻	離れ日	離れ時刻	死活情報
	丹南農林事務所	サル太郎	477	20161030	1837			
	丹南農林事務所	サル太郎	477	20161030	1837	20161030	1838	
	丹南農林事務所	サル太郎	477	20161030	1838			
	丹南農林事務所	サル太郎	477	20161030	1838	20161030	1840	
	丹南農林事務所	サル太郎	515	20161030	1855			
	丹南農林事務所	サル太郎	515	20161030	1855	20161030	1857	
	丹南農林事務所	サル次郎	480	20161030	1929			
	丹南農林事務所	サル次郎	480	20161030	1929	20161030	1932	
	丹南農林事務所	サル次郎	530	20161030	1934			
	丹南農林事務所	サル次郎	530	20161030	1934	20161030	1935	

以下のように、同時に複数の発信器の受信／記録が出来ます

(Mail通知はその都度行いますが、回転灯は回ったまま、新たな警告音は発しません)

メモリNo	場所	名称	受信レベル	接近日	接近時刻	離れ日	離れ時刻	死活情報
	丹南農林事務所	サル次郎	501	20161101	1929			
	丹南農林事務所	サル太郎	403	20161101	1934			
	丹南農林事務所	サル次郎	501	20161101	1929	20161101	1936	
	丹南農林事務所	サル太郎	403	20161101	1934	20161101	1938	

受信履歴を管理すると、追い払い等の対応の効果が見て取れます。

彼らが嫌な思いをすると、受信する、すなわち接近してくるインターバルが、間違いなく長くなります。

発信器を取り付けられたサルについては、時間の経過と共に、自分が近づくと音／光が発せられると言う事を学習する可能性が大です。

最初は、短い期間の検知／離反が続くケースもあります。

長期に見た場合、彼らが学習する前に、新たな捕獲／発信器の取り付けが必要となります。